

【新】・・・新規事業

区民の安全・安心を守る北区強靱化

事業名	予算額
(1) (仮称) 北区強靱化プロジェクトの策定【新】	(1) 10,481千円
(2) 不燃化加速事業助成制度の創設【新】	(2) 18,000千円
(3) 木密地域内での無電柱化の取組み	(3) 135,201千円

ここがポイント！

- (1) (仮称) 北区強靱化プロジェクトの策定
 - ☛ 風水害・地震・噴火をはじめ、北区が直面する様々な危機について、区が取り組むべきことを明らかにする
- (2) 不燃化加速事業助成制度の創設
 - ☛ 十条北地区において、老朽建築物の除却や建替えに対する助成事業（不燃化加速事業）を開始
- (3) 木密地域内での無電柱化の取組み
 - ☛ 木密地域において、無歩道の生活道路の無電柱化にチャレンジ

事業概要

(1) (仮称) 北区強靱化プロジェクトの策定

- ▷ 庁内関係部局で連携して北区強靱化プロジェクト検討会を設置し、有識者からの意見聴取等も行い、(仮称) 北区強靱化プロジェクトを策定する。

(2) 不燃化加速事業助成制度の創設

- ▷ 不燃化を加速させ、地域の防災性向上のため、十条北地区において、老朽建築物の除却や建替え（設計・監理費部分）をする場合に費用の一部を助成する。

(3) 木密地域内での無電柱化の取組み

- ▷ 東京都の無電柱化チャレンジ支援事業の認定を受けた、志茂スズラン通り商店街の一部区間において、令和5年度は企業者による支障移設工事を実施した。
- ▷ 令和6年度は電線共同溝本体の整備工事を開始する。

【担当】

防災まちづくり担当課長
電話 03-3908-9162

【新】・・・新規事業

能登半島地震を受けた災害対策の強化

事業名	予算額
(1) 避難所環境の更なる充実【新】	(1) 61,142千円
(2) 木造民間住宅耐震化促進事業の充実	(2) 101,585千円

ここがポイント！

区では震災等への備えとして、つっぱり棒のあっせん及び設置支援、火災防止として感震ブレーカーの配付及び設置、視覚障害者への戸別受信機の配付（令和6年度開始予定）などの事業を行っている。今回、能登半島地震での被害状況を踏まえ、緊急的に以下の事業を行う。

(1) 避難所環境の更なる充実

- ☛ 避難所における衛生面等の課題を踏まえ、簡易トイレ袋の備蓄を増量
- ☛ 避難者の通信環境を確保するため、避難者用の蓄電池を新たに導入

(2) 木造民間住宅耐震化促進事業の充実

- ☛ 新耐震基準の木造住宅（平成12年5月31日以前に建築着手）を対象とした耐震化支援策を開始

事業概要

(1) 避難所環境の更なる充実

- ▷ 発災直後からマンホールトイレや仮設便所が設置されるまでの間、1人あたり3回分のし尿を処理できるように簡易トイレ袋の備蓄量を増やす。
- ▷ 避難者のスマートフォン等が充電できるよう、避難所設置のソーラーパネルと合わせ、避難者用の蓄電池を新たに導入する。



(2) 木造民間住宅耐震化促進事業の充実

- ▷ 新たな支援策として、旧耐震基準木造住宅に加え、平成12年以前に建てられた新耐震基準木造住宅を、診断、補強設計、改修工事の事業対象に拡大する。
- ▷ 建替え工事事業の助成対象エリア拡大や、高齢者世帯の助成金増額要件を見直すことで、より支援を拡充する。
- ▷ 助成対象となる住宅に対し、より一層の制度の普及啓発を図り、木造住宅の耐震化を促進する。



- **診断**
- **補強設計**
- **改修工事**

【(1) の担当】

防災・危機管理課長

電話 03-3908-8184

【(2) の担当】

建築課長

電話 03-3908-1240

【新】・・・新規事業

あらゆる自然災害への対応力を強化

事業名	予算額
(1) 防災無線のマルチメディア配信による災害情報発信力の強化	(1) 106,700千円
(2) 災害情報システムのバージョンアップ	(2) 49,390千円
(3) スターリンク衛星回線の導入【新】	(3) 2,225千円
(4) 地区防災計画策定支援【新】	(4) 12,222千円

ここがポイント！

- (1) 防災無線のマルチメディア配信による災害情報発信力の強化
- ☛ 防災無線（同報系）の音声放送と連動したマルチメディア配信を可能とし、迅速かつ効果的な情報発信を行うため、操作卓を更新
- (2) 災害情報システムのバージョンアップ
- ☛ 災害情報システムをバージョンアップ（機能強化）するとともに、新たに区民向け防災ポータルサイト、防災アプリを運用
- (3) スターリンク衛星回線の導入
- ☛ 災害時に停電が発生した場合においても区独自の衛星通信ネットワークを23区で初めて導入し、各種システムを活用した災害対策本部活動を継続
- (4) 地区防災計画策定支援
- ☛ ワークショップを通じて地域の特性や防災活動に対する理解を深めながら計画的に整理することで、災害時における共助の取組みを実効性のあるものにする

事業概要

(1) 防災無線のマルチメディア配信による災害情報発信力の強化

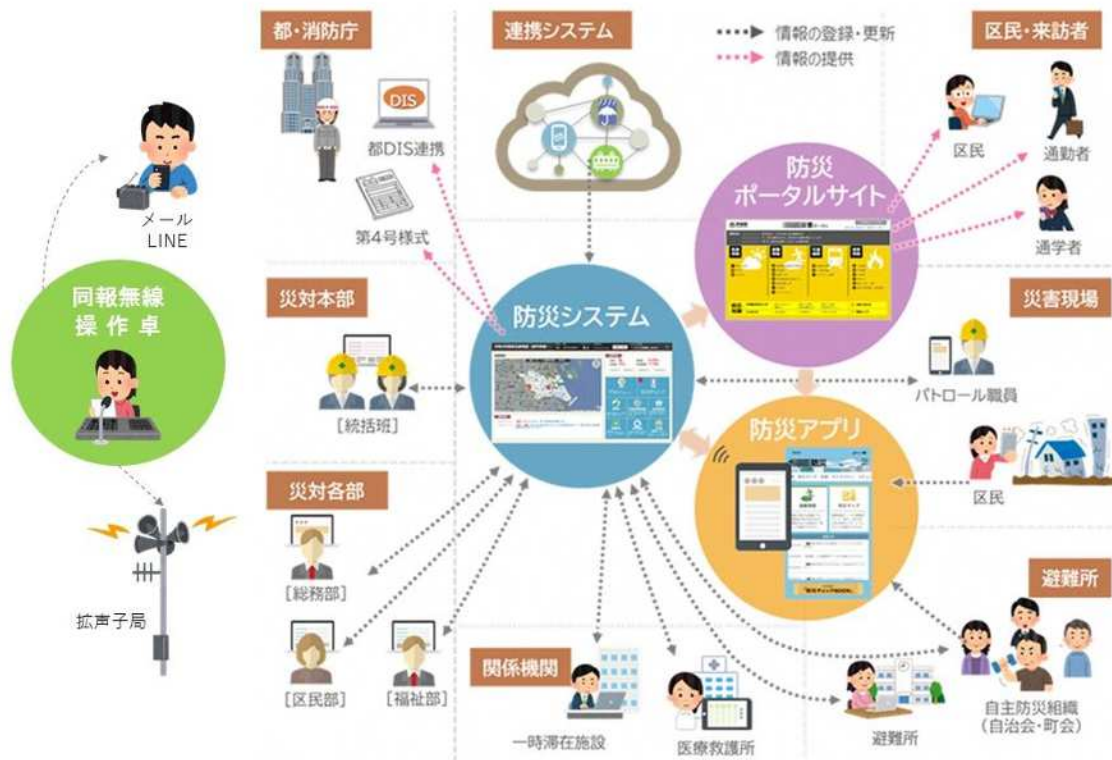
- ▷ 老朽化した同報系防災行政無線の操作卓を更新し、音声放送のみならず、放送内容をメール配信やホームページにも反映できるようにする。
- ▷ 区役所第一庁舎及び防災センターのどちらにおいても、同様の放送操作が可能となり即応性が向上する。



5-3 安全・安心No.1の防災と北区強靱化

(2) 災害情報システムのバージョンアップ

- ▷ 災害情報システムを機能強化し、災害対策本部活動における情報収集、意思決定、情報発信等を一元的に行えるよう体制を整える。
- ▷ 区民への情報発信を強化するため、防災ポータル及び防災アプリにより、避難所の開設、避難指示等の発令、防災気象情報などを多言語対応で提供する。



(3) スターリンク衛星回線の導入

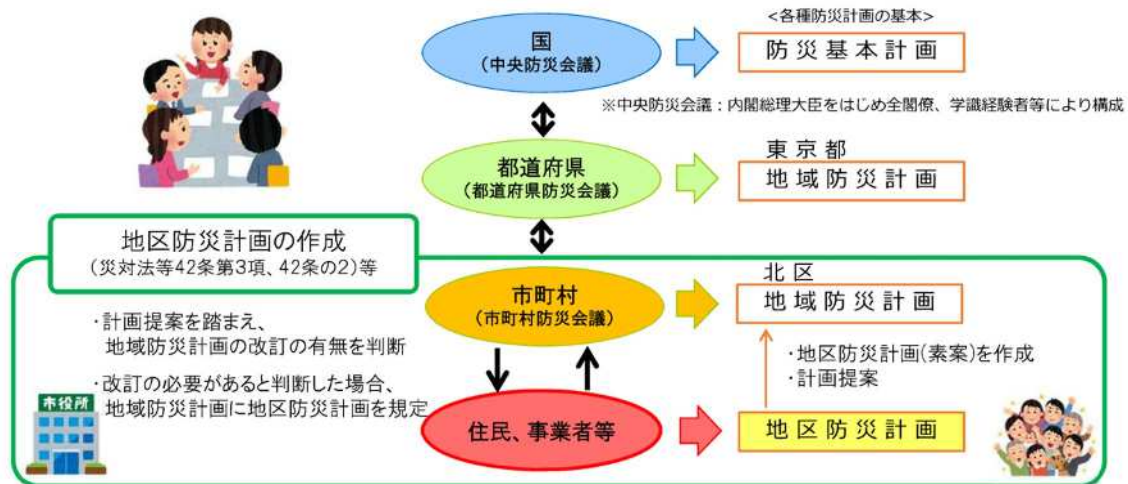
- ▷ 災害時の停電により地上の通信インフラが途絶した場合においても、クラウド型の各種システムを活用した災害対策本部活動を継続するため、区独自で衛星回線を利用できる体制を整える。
- ▷ 区内の一部地区で通信が途絶した場合や、大規模イベントで多数の人が集中し回線が混雑して繋がりにくい場合でも、臨時 Wi-Fi アクセスポイントの開設が可能になる。



5-3 安全・安心No.1の防災と北区強靱化

(4) 地区防災計画策定支援

- ▷ 災害に関する事前の対策や発災時の相互支援の活動を地区ごとに具体化し、地域が主体となって策定する「地区防災計画」を整理するための支援を行う。
- ▷ ワークショップを行い、地域の特性や実態に即した計画内容とすることで、災害時における共助の取組みを実効性のあるものにする。



【(1)～(3)の担当】
防災・危機管理課長
電話 03-3908-8184

【(4)の担当】
地域防災担当課長
電話 03-3908-8194